

厚生福祉

時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
購読料金 税抜月額4,100円
本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。
©時事通信社2018
◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
kousei-dokusha@jiji.com

目次

連載	2
医療・介護経営の現状と課題⑩	
医療職員の年収と人件費(中)	
中央省庁ニュース	8
温泉地の配管交換を補助=CO ₂ 削減効果見込む/「防ぎ得る死、ゼロに」=アレルギー研究で報告書/住宅の省エネ対策強化へ=適合義務の対象拡大検討	
進言(長野県県民文化部こども・若者担当部長)	9
特集	10
医療機器開発と産業振興⑤・完	
医療機器政策としてのAI開発、ゲノム医療推進	
地域を支える	15
トピックス	16
リーマン・ショックからの教訓は?	
攻めの里親リクルートへ	
私たちの工夫	17
ニュースフラッシュ	18
未就学児に「歩育ブック」/GPS装備の靴、購入費を助成/高齢者ボランティアにポイント付与/敬老祝い金廃止、財源を介護予防に/障害者差別解消条例を施行/小中学校に「校務支援システム」/時差勤務の拡充検討/子育て応援企業のマーク作製/野良猫の避妊手術費補助	

仕事の仕方

西オーストラリアへワイルドフラワーを訪ねるツアーに参加した。オーストラリアは第二の故郷のような国。若い頃たびたび訪ねて福祉のあり方、介護の専門性を私なりに学んだところである。

旅の途中、参加者の友人が2日ほど合流した。彼は日本人の医師だが、オーストラリアで再度研修を受けて資格を取って働いている。7週間の休暇中とか。オーストラリアでは管理職ほど長い休暇を取る。この国では今の日本でも言われているワークライフバランスが常識になっている。

日常生活の中でも、男女共に仕事と家庭生活を両立しているが、長期休暇だけを考えても日本と大きな違いがあると思う。もちろん休暇の長さも

社会福祉法人新生活会
名誉理事 長 石原美智子



違うが、長期の休暇を取るということは、留守中もそれなりに仕事が行っているということの意味する。

他人に自分が常々行っている仕事を委ねて何週間も留守をする。そのために休暇を取る側と留守を守る側とで必要なことは何か。いわゆる個人プレーではなくチームでの仕事の仕方。

休暇を取る側にとって一番大事なのは、長時間仕事のことを忘れて、例えば趣味や勉強や家族のために過ごす知恵や行動力。どれほどの日本人がこんなことをできるだろうか。

私の知っている医師ならば「それは不可能。(自分の)患者さんを放って置いて休むことなど

できない」と答えるだろう。もし休むなら、患者から「何という無責任な先生」とごうごうたる非難を浴びる覚悟をしなければならぬ。

このワークライフバランスのメリットについて私なりに思うことは、決定権を持つ人、政策立案などに関わる人ほど長期の休暇を使って生活者として過ごすことによつて、その人が何かを決める際、一般市民の目線と大きく乖離しない判断が期待できるのではないだろうか。

例えば、世の男性すべてが子育てに直接参加したら、今まで見えてこなかった政策の新しい発想が芽生えるかもしれないし、子どもたちのためにどのような社会を残して置くべきかを考えながら法律の整備に取り組むかもしれない。

こんなことを考えていたら何だか心楽しくなってきたのは、女性の勝手な偏見のせいだろうか。